

アジア神学セミナー

# 「アジア神学」序説

徐正敏 教授

# アジアに対する理解(アジア論)

アジアの現実に対する  
ネガティブの問題点

帝国主義被害の痕跡

民主主義の歴史が短い。

極端的資本主義、富の偏重現状、

拝金主義の蔓延

民衆教育の不足



朴槿惠大統領



安倍首相



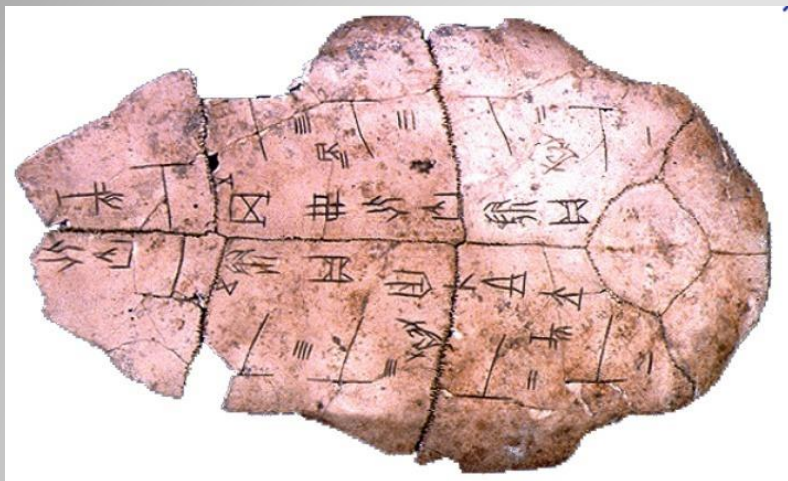
インドにおいて奴隸的扱いを受ける人々



ソウルの貧民街と高層ビル

# アジアのポジティブな未来の 可能性の要素

古い歴史、文化的伝統  
深い精神価値観  
地域文化の多様性  
人的、物的資源の豊か  
ポジティブな思考方式



黄河文明 甲骨文字



インダス文明 モヘンジョダロの印象



老子



瞑想



四君子

# 中心的東アジアにおける アジア・アイデンティティの 薄弱背景

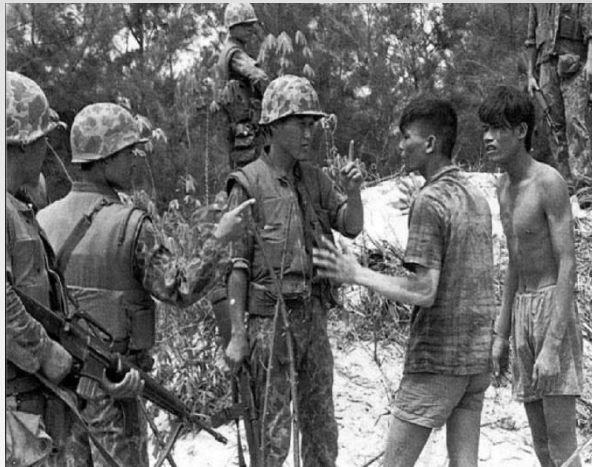
日本- 「脱亜入欧」

韓国- 「アジア帝国主義による植民地経験」  
「ベトナム戦争」

中国- 「世界中心認識」



韓国戦争



ベトナム戦争に参戦した韓国軍



「脱亜入欧」主唱者  
福沢諭吉



日本の赤軍



中国 天安門事件

# 「アジア神学」の中心内容

多宗教、多文化歴史社会の理解

現実的な課題に対する神学的応答

「キリスト教主義」の展開理論の具現



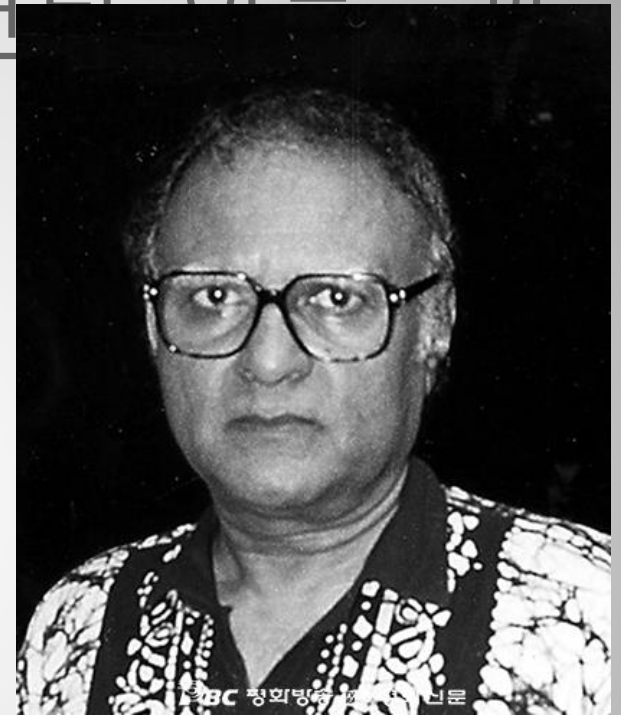
과 관련된 이름



C. S. 송



柳東植



아로시우스·피에리스

# 「キリスト教主義」の理解

## 同心円的な構造

核心円：キリスト教信仰-教会

第2円：キリスト教の固有の価値領域、キリスト教時別倫理：隣人を愛し、敵を愛し、自分を迫害する者のために祈る。(マタイによる福音書5：43-44参考)-教育現場

# 「キリスト教主義」の理解

## 同心円的な構造

第3円：キリスト教の一般の価値領域、キリスト教普遍倫理：平和、生命、人権、共生など。別の宗教、イデオロギーと共通する。-多宗教、多文化社会

